

2018 FEB. Vol.24

未来への心をつなぐパートナー
～農をはぐくみ 地域をつなぐ～

みらい



JAふくしま未来
広報誌 2月号



2



JAふくしま未来



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。



取材をした1月は大豆の選別・調整に大忙しでした

次代の仲間

常に「地域の担い手」 としての意識を

南相馬市鹿島区
桜井義晴さん

平成12年、21歳の時に実家の農業の規模が拡大したのを機に就農した桜井さん。現在は平成22年に立ち上げた農業生産法人「㈱桜井アグリサービス」の取締役として、主に水稻と大豆の生産管理を担っています。

農業について「自然相手だからこそ毎年同じ様にならない難しさがある。でも、それぞれの『四季』を感じながら楽しんでいける」と魅力を感じている桜井さん。生産した米や大豆は全量JAに出荷しています。「良いものを作って販売する」こと

こだわった桜井さんの大豆を使用している加工業者からは、品質の良さから高評価を得ています。

同法人の現在の経営規模は水稻21ha、大豆7ha、和牛繁殖の親牛が65頭。年々、生産者が減少する中で、桜井さんは「今後、水稻と大豆の規模が増えていくことは分かっている。地域の担い手として出来る範囲で農地を守りながら、雇用も生めれば」と話しました。

子どもの見送り 頑張ります！



お子さんと一緒に遊ぶ桜井さん

3人のお子さんがいる桜井さん。毎朝の日課は小学生の長女のお見送りです。今年の4月からは次女の幼稚園のお見送りが始まります。「普段奥さんに育児を任せっきりな分、忙しい朝の見送りは続けたい」と話していました。

みらいろ 歳時記

MIRAIRO
SAIJIKI



暦の上では2月4日の立春を境に、季節が春に変わりますが、まだまだ寒い日が続きます。立春から15日目にあたる日を雨水といい、この日に雛人形を飾ると子宝などの良縁に恵まれるといわれています。

農作業においては、地温が上昇すると根の伸長が始まり、養分の吸収も多くなります。一方で、冬場に蓄えられた栄養分や甘味は少なくなります。大根や白菜などのアブラナ科野菜は花芽の分化が始まるので、冬野菜の収穫が終わっていない場合は早めの収穫を心がけましょう。また、これからに向けて堆肥などの土壌改良材を畑に入れるなど、土づくりをして種まきや植え付けの準備をしておくことも大切です。

もくじ

- 02…みらいろ歳時記
- 03…若き農業者紹介コーナー 次代の仲間
- 04…ニュース
- 06…特集1 平成30年産米に向けた取り組みについて
- 08…特集2 安心して暮らせる地域へ地域見守り活動はじまりました
- 10…みらいろトピックス
福島地区、伊達地区、安達地区、そうま地区
- 18…気の向くままに散歩道 おでかけ みらいろード
- 20…所得アップ実践農家の取り組みを紹介 農業人
- 22…農の達人栽培講座
～リンゴ整枝・せん定のポイント～
- 25…JAの農業振興支援事業を活用 農業所得アップ優良事例紹介
- 26…地域の営農集団紹介
- 27…輝きを未来へ 福島明成高校
- 28…女性部活動紹介
- 30…ベジフルみらいろキッチン
- 31…元気にすくすく みらいっ子
- 32…よくわかる福大農学系学部設置について
- 33…健康コラム
- 34…みらいろ作品展
- 36…JAからのお知らせ
- 40…農のある風景

【表紙のウラ話】

今回の表紙はそうま地区青年連盟鹿島支部の皆さん！(3名ほどJA職員が混ざっています)毎年、新年早々に開催される「スーパーマチャリGP」に参加した時の集合写真です。澄み渡った空と富士山を背景に撮影させて頂きました。朝日のように見えますが、実はレース終了後の夕日。皆さん疲れているのにずっと立たせたまま写真を50枚ほど撮らせて頂きました。盟友から「さすがにもういい!」との声が続出。

表紙はとても爽やかな写真に仕上がりましたが逆光によって半分以上はボツ写真になり、皆さんの体力を無駄にしました……。

皆さんご協力ありがとうございました！



西内由貴さんのあまりの疲れ顔にシャッターを押してしまいました。



逆光によりボツ写真になりました。これでは、誰が誰だか分かりません。

NEWS 1

さらなる飛躍誓う
福島市農始祭



▲謝辞を述べる表彰者

当J Aと福島市は1月17日、平成30年福島市農始祭を福島市で開きました。市の農業表彰式や新春交歓会などを実施し、今年の豊作を祈願しました。

農始祭は農業情勢を農業関係者で共有し、農業の復興や地産地消拡大、生産振興につなげることが目的。4回目となる今年は、J A役員や農業関係者約230人が出席しました。

農業表彰式では受賞者の大宮篤司さん・紀子さんご夫妻、末永喜広さん・初子さんご夫妻、佐藤政義さん・由紀子さんご夫妻に木幡浩市長が表彰状と記念品を授与。受賞者がそれぞれ謝辞を述べ

ました。

新春交歓会では菅野孝志組合長が「復興再生には農業、加工業、流通業などがつながることが大切」とあいさつ。情勢報告では市内の農道航空「ふくしまスカイパーク」の取り組みや東南アジアでの青果物販売促進活動について担当者が説明後、当J Aから市に寄付金を贈呈。子ども向け教材を市と川俣町に寄付しました。その後、今年の豊作を願う関係者がもちつきを行い、福島大学の中井勝己学長の発声で乾杯。出席者の皆さんは地元農産物を使用した料理などを味わいながらお互いの懇親を深め、さらなる飛躍を誓いました。



▲豊作を願いもちつきを行う関係者

NEWS 2

家畜市場で初セリ
最高価格は
134万円



▲活気よく行われた初セリ

J A全農福島は1月16、17日、本宮市の県家畜市場で平成30年度和子牛の初セリを開きました。2日間で780頭が上場し、去勢と雌を併せた平均価格は76万7300円で、最高価格は134万5680円でした。

大橋信夫運営委員長は「福島ブランドの復活に向け、粘り強く取り組みを進めていきたい」とあいさつ。当J Aからは和子牛167頭が上場しました。18日には和牛成牛の初セリが行われました。

NEWS 3

内部監査開始
J G A P 団体認証
取得に向け加速

平成32年開催のオリンピック・パラリンピックへの食材の提供を契機に風評払拭を図り「安全・安心」を日本、世界へアピールすべく、その提供基準である第三者認証G A Pの取得を目指し平成29年度より取り組みを始めました。

もも・なし・果樹G A P部会は3月のJ G A P 団体認証審査へ向け、1月18日から内部監査が始まりました。内部監査員の資格を持つ営農指導員が現地で、農場が遵守すべきルールや必要書類、肥料・農業の保管状況等をチェックします。内部監査は、もも26農場、なし7農場、果樹26農場で2月中旬まで行われる予定です。

きゅうり・蔬菜・水稻G A P部会は6月の審査に向けて進めています。



▲書類を入念にチェックする内部監査員

NEWS 4

「やさしい甘さ」と好評
安倍総理にあんぽ柿贈呈



▲あんぽ柿を受け取る安倍総理（中央右）

歓迎し、実際にあんぽ柿を試食すると「やさしい甘さで美味しい」と話しました。

歓談の時間では、穴戸部会長が現場の様子や震災後からの経緯を話し、菅野組合長が「もう少しで震災前の水準に戻る。価格が元に戻るよう応援して欲しい」とお願いをしました。

表敬訪問後の取材で、穴戸部会長は「生産者として、安倍総理大臣に食べてもらって『美味しい』と言ってもらえるのは励みになる。これからも頑張って美味しいものを作りたい」と話していました。

当J Aは1月23日、首相官邸を表敬訪問し、安倍晋三内閣総理大臣にあんぽ柿を贈呈しました。内堀雅雄県知事やJ A福島中央会の大橋信夫会長、当J Aの菅野孝志組合長、あんぽ柿生産部会の穴戸里司部会長などが同席し、あんぽ柿生産の現状を説明しながら美味しさをPRしました。



▲美味しさを実感した試食

NEWS 5

歳末感謝祭・初売り
年末年始の直売所大賑わい

当J Aの直売所12店舗で年末年始に、日頃の感謝を込めたイベントやセールを行い、多くの来店客で賑わいました。

そうま地区の「旬のひろば」と「ふれあい旬のひろば」では12月27、28日に歳末感謝祭を行い、県内産サンふじなどを特別価格で販売。開店前から長蛇の列が出来る程でした。



▲豪華賞品がもらえる抽選会



▲来店客は甘酒で体を温めました



▲福袋を受け取る来店客



▲大盛況の歳末感謝祭

年明けの初売りは、そうま地区が4日、福島地区の「ここら」・伊達地区の「みらい百彩館んめくべ」・安達地区の「こらんしよ市」が5日で、売り場では甘酒振る舞い、福袋販売、抽選会などを行いました。

んめくべの福袋は開店10分で売り切れてしまう程人気で、また、抽選会では「抽選番号を合わせるのが楽しい」と多くの来店客がイベントを楽しみました。

平成30年産米に向けた取り組みについて

平成30年産米からの生産目標数量配分の廃止への対策

皆さんもご存じの通り、平成30年産米から国の生産目標数量の配分が廃止され、生産者や集荷業者・団体が中心となって需要に応じた生産を行う、「国指導から産地主導へ」と大きく転換します。このようななかで、29年産米で到達した米価の維持による生産者所得の確保のため、県・各市町村地域再生協議会と連携し引き続き生産調整に取り組みます。

平成30年産米の需要見通しは735万t（前年度同様）です。今後、各地域再生協議会で示される「生産数量（面積）の目安」をふまえ需要に応じた米生産の取り組みを推進します。

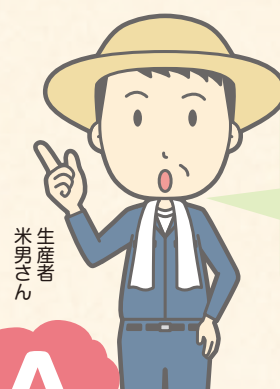
《需要に応じた米生産の継続を推進します》

【主食用米】

- ①「生産数量（面積）の目安」にもとづく需要に応じた主食用米生産を推進します。
- ②生産者との複数年契約により集荷数量・集荷率の拡大をおこない、安定した販売先による農家所得の安定確保を図ります。
- ③品種構成の転換による業務用需要への対応拡大を図ります。
※営農再開地域においては、「生産数量の目安」にもとづき主食用米の生産再開を推進します。

【非主食用米】

- ①飼料用米については、多収性品種導入と収量向上、作付けの定着をはかります。
- ②備蓄米の継続的な取り組みを行います。
- ③加工用米及び輸出米の取り込み検討します。



米男さん

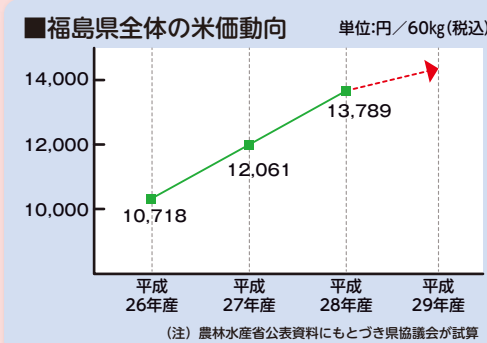
Q
いよいよ平成30年産がはじまるね！平成30年からは「生産数量目標」がなくなるって聞いたけど、「主食用米」を自由に生産してもいいのかな？

A

平成26年産と平成29年産の米価を比較すると、60kgあたり、3,000円以上上昇しています。これは需要に応じて主食用米の削減に取り組んだ結果です。平成30年産では国の「生産数量目標」はなくなりますが、協議会から「目安」を提供します。決して減反廃止ではありません。



地域協議会担当
米吉さん



福島県全体の制度別・用途別作付計画

単位:ha

区分	平成29年産実績	平成30年産計画	平成30年産計画 ～平成29年産実績
主食用米	59,900	59,300	▲600
非主食用米	飼料用米	6,800	961
	備蓄米	3,800	▲18
	加工用米	320	39
	WCS	1,100	▲22
	その他	80	40
計	11,100	12,100	1,000
全水稻作付面積	71,000	71,400	400

（注）平成30年産主食用米計画は「目安」（面積）

※県全体として、水稻以外にも、麦・大豆、園芸作物への転換を推進します。

《平成30年産米からの複数年契約について》

生産者の所得安定確保を図るため平成30年度複数年契約米（平成30年産・31年産・32年産の3ケ年）の複数年契約米の出荷契約をおこないます。

契約内容

- ①3年間の複数年出荷委託契約とし作付面積に基づく数量契約とします。
- ②期間中の買入時に支払う概算金の最低保証単価（1等・1俵：60kg・税込）は
◎天のつぶ：11,000円/俵 ◎コシヒカリ：12,000円/俵
◎ひとめぼれ：11,000円/俵
- ③農産物検査を受検し、3等以上の規格とし、等級間格差は共計米価格差とします。
- ④出荷契約金を契約数量に応じて共計米に準じて支払うことができるものとします。
- ⑤年産毎に販売終了後、複数年契約分のみの共同精算をおこないます。
- ⑥買入時の概算金単価については、別途設定します。

【参考資料】《買入時概算金 イメージ（天のつぶ 1等・1俵：60kg・税込）》

買入時概算金額		買入時概算金額	
一般概算金が最低保証価格を上回った場合		一般概算金が最低保証価格を下回った場合	
一般米	複数年契約米	一般米	複数年契約米
12,000円/俵	12,000円/俵 保証額11,000円+調整1,000円	10,000円/俵	11,000円/俵
一般米概算金 12,000円/俵	追加調整1,000円/俵	一般概算金 10,000円/俵	最低保証価格 11,000円/俵

※調整金額については、支払可能範囲での追加調整となります。

契約条件

- ①品種：天のつぶ、コシヒカリ、ひとめぼれ
- ②契約面積：50a以上（ただし、ひとめぼれは30a以上）
- ③生産調整取組者

契約受付期間・場所 平成30年3月31日まで、各営農センターで行います。
お問い合わせ先 各営農センターへお願いいたします。

安心して暮らせる地域へ『地域見守り活動』はじまりました

地域見守り活動とは

地域見守り活動はJ A役員が組合員宅や利用者宅を訪問時、高齢者や障害者、子どもなどの見守りに努める取り組みです。訪問時に郵便受けに新聞や郵便物がたまっているなどの異変があった場合、行政機関に連絡し事件・事故の未然防止に努めます。緊急の場合は警察や消防に連絡します。また、認知症の方へのサポートなども行います。

活動の内容

- ・訪問宅や周辺の異常状況等の確認
- ・来店時の状況確認
- （振込め詐欺未然防止）
- ・不法投棄の監視・情報提供
- ・認知症の方へのサポート
- （認知症サポーターの資格取得）

「J Aふくしま未来地域見守り活動」連携フロー図

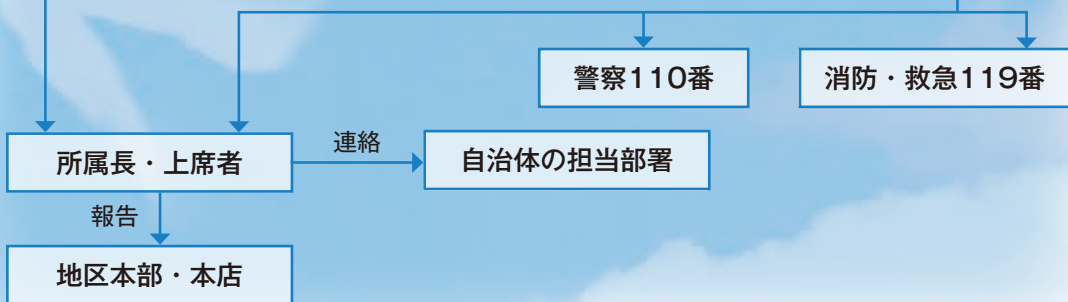
見守りのポイント

- ・定期的に支店、営農センター、資材店等を利用していたが、しばらく来店がない。
- ・訪問時はいつも玄関に出てくるのに、玄関に施錠もなく呼び出しても応答がない。
- ・郵便受けに新聞や郵便物がたまっている。
- ・日中にもかかわらず外灯が点灯したままになっていたり、日没後でもカーテンが閉められておらず、人影も確認できない。
- ・頻繁に罵声が聞こえたり、物を投げる音がするなど、虐待、暴行を受けているおそれがあると思われるとき。
- ・対象者にいつも不自然な傷や痣（あざ）がある。
- ・服装が不自然なまま外出している。
- ・最近、顔色も悪く、やせてきたように見える。
- ・普段、見慣れない人物が、客観的に見て不審と思われる行動をしている。
- ・上記に限らず、性別年齢を問わず様子がおかしいと感じたときは、連絡する。

◎緊急の場合
（生命の危機等）

連絡

連絡



高齢者・認知症の方への見守り

日本は超高齢社会を迎え年々高齢者の数は増加傾向にあり、それに伴い認知症になる方も増加すると言われています。当J Aでは認知症の方への正しい対応や知識をつけるため全職員を対象に認知症サポーター養成講座を開き、認知症サポーターの育成に取り組んでいます。

高齢者や認知症の方へは思いやりを持った対応が必要です。笑顔で優しく声をかけ、相手の返事を待ち、「ありがとう」や「そうですね」など感謝や共感する言葉を使うように心がけ、相手の自尊心を傷つけないことが大切です。

管内12市町村と地域見守り協定締結

見守り体制の充実を図るため当J Aは、11月6日から12月中旬まで各市町村で地域見守り協定締結式を開き、地域見守り協定を結びました。



協定書を交わした高橋宣博桑折町長(左)と安彦慶一専務



協定書を交わした太田久雄国見町長(右)と安彦専務



協定書を交わした押山利一大玉村長(右)と菅野孝志組合長



協定書を交わした加藤憲郎新地町長(左)と菅野組合長



協定書を交わした高松義行本宮市長(右)と菅野組合長



協定書を交わした立谷秀清相馬市長(右)と今村秀身専務



協定書を交わした佐藤金正川俣町長(右)と永澤信弘福島地区担当専務



協定書を交わした菅野典雄飯館村長(中央右)と半谷善弘専務(中央左)

地域見守り協定締結市町村一覧表

締結日	市町村名	場所
H29.11.6	二本松市	二本松市役所
H29.11.7	伊達市	伊達市役所
H29.11.7	桑折町	桑折町役場
H29.11.7	国見町	国見町役場
H29.11.8	大玉村	大玉村役場
H29.11.16	南相馬市	南相馬市役所
H29.11.21	新地町	新地町役場
H29.11.29	本宮市	当J A本宮支店
H29.12.4	相馬市	相馬市役所
H29.12.4	川俣町	川俣町役場
H29.12.7	飯館村	飯館村役場
H29.12.18	福島市	※市長改選のため、協定書の取り交わしのみ行いました。

異変が見られた場合の連絡先一覧

もし、あなたの周りで右記のような異変等が見られた場合は、下記の市町村受付窓口への連絡をお願いいたします。

市町村名	受付窓口	TEL	FAX	備考
福島市	長寿福祉課 地域包括ケア推進室	024-529-5064	024-526-3678	時間外 代表024-535-1111
川俣町	保健福祉課	024-566-2111	024-566-2438	
伊達市	高齢福祉課	024-575-1125	024-576-7199	高齢者関係等
	社会福祉課	024-575-1274	024-576-7199	障がい者関係等
	学校教育課	024-577-3249	024-577-7203	子どもの保護関係
	こども支援課	024-577-3202	024-577-3286	子ども虐待等
桑折町	保健福祉課	024-582-1134	024-582-1180	
国見町	保健福祉課	024-585-2793	024-585-2181	
二本松市	高齢福祉課	0243-55-5114	0243-22-1547	高齢者関係等
	福祉課	0243-55-5113	0243-22-1547	障がい者関係等
	学校教育課	0243-55-5152	0243-22-3147	子ども関係等
本宮市	社会福祉課	0243-24-5371	0243-34-3138	
大玉村	健康福祉課	0243-24-8115	0243-48-3137	
相馬市	健康福祉課	0244-37-2174	0244-37-2162	
南相馬市	社会福祉課	0244-24-5243	0244-24-5740	時間外 警備室0244-37-2195
新地町	総務課	0244-62-2111	0244-62-3194	
飯館村	住民課	0244-42-1618	0244-42-1600	



▲研修に参加した皆さん

農産物直売所運営委員会の役員など12人が1月17日と18日、栃木県と群馬県で研修を行いました。栃誠和のトマトパークでは日本最高峰のトマト栽培に理解を深め、JA邑楽館林の農産物直売所「ぼんぼこ」では生産者の栽培・出荷意欲を向上させるための工夫を学びました。

トマトパークは平成28年8月に開業した生産・研究・情報発信を目的とした施設です。最先端の資材を使い光の透過性を格段にあげ

先進農業と画期的な直売所の取り組み学ぶ 直売所運営委員会役員研修

た「日本一 明るいハウ ス」の中は、コンピュー ターによつ て生育に適 した環境に 整えられて いて、「高 糖度」「減 農薬」など の目的別にトマトの栽培実証試験が行われています。見学した会員の皆さんは、トマトパークのスタッフの説明に熱心に耳を傾けていました。

平成20年に開設した「ぼんぼこ」では、バックヤードに「売り上げベスト20」や「仕入ランキング」などの紙を貼りだして生産者の生産意欲向上につなげている工夫などの説明を、自分たちの直売所の運営と比較しながら聞きました。

参加した役員は「貴重な経験になった。直売所のさらなる充実に向けて学んだことを活かしたい」と話していました。



▲トマトパークの施設を見学

福島市園芸農産振興会は1月19日、福島市内の園地でおとうの剪定講習会を開き、生産者約50人が出席しました。青森県の留長果樹園主の留目英樹さんが実技を交えながら、大玉生産に向けた摘蕾の仕方や樹勢回復のための剪定のポイントなどを説明。高品質なおとう生産に向けて技術を習得しました。また、同日には農業総合センター果樹研究



▲留目さんの実技を見つめる参加者



▲参加者が見つめる中剪定する佐藤職員

所場内で桃の「はつひめ・さくら白桃」の剪定講習会も行い、約100人が出席しました。

23日には市内の畑で毎年恒例のりんご低樹高化セミナーを行い、100人が出席しました。講師の当JA営農部園芸課の佐藤宏一職員が実技を交えて剪定の方法を指導し、生産者はこれから本格化する剪定に向けて意識を高めました。

毎月恒例のJAふくしま未来料理教室を1月18日に、福島市のアクティブシニアセンターAOZで実施しました。今月は、黒豆と昆布入りご飯、大豆と手羽先の煮物、あおぼた豆とりんごのサラダ、牛乳果汁の4品を作りました。

豆は、炭水化物(糖質)、たんぱく質、ビタミン、ミネラル等の栄養素をバランスよく含んでおり、健康づくりに役立つ優れた食品です。

参加者は、「全メニュー豆が使用されていて、固さや種類が違 うので、4品の豆料理を楽しめた」「豆料理がこんなに美味しく、手軽にできると思わなかった」「豆料理のレパートリーを増やせて良かった。さっそく家で作ってみます」とめずらしい豆料理に満足していまし



▲興味津々の参加者

この日は、内閣総理大臣賀寿と県・市の賀寿贈呈も同時に行ったため、トシさんは「こんなに大々的にやってくれると思わなかった。ちよつと恥ずかしい」と嬉しそうに話していました。

毎朝、新聞を読んで規則正しい生活を心掛けているトシさんは、手先が器用でよく折り紙で作品をつくりま



▲みんなにお祝いされて嬉しそうなトシさん(中央)

加藤トシさん(松川)の100歳祝う 年金友の会長寿祝い



▲おもしろ野菜の収穫を楽しみにしている美枝子さん

今度はおばけ大根！ 渡利の菊地美枝子さん

昨年6月に実から直接葉っぱが生えている不思議なキュウリを収穫した福島市渡利の菊地美枝子さんが、今回は足が生えたようなおばけ大根を収穫しました。収穫したのは12月21日。大根の首が丁

度いい太さに育つていたので引き抜くと、先が3又以上に割れた大根が収穫できました。

美枝子さんは「変わった大根でしょ？ぶつくりしていかわいいよ」と話しました。キュウリの時と同じように、お孫さんに見せるのを楽しみにしています。

福島市笹谷の高田信子さんは4年前からステンドグラスづくりに熱中しています。農閑期など農作業ができない日に、自宅の作業部屋で作品づくりに没頭。作品は展示会にも出品して



▲自慢の作品を紹介する信子さん

信子さんは「大変な分出来上がったときは嬉しい。これからも、農作業の合間の楽しみとして続けたい」と話していました。

きっかけは、道の駅「安達」に立ち寄った際にたまたま開催していた展示会を見たこと。感動した信子さんはすぐに、主催者であるステンドグラス作家の千代豊子さんに連絡し、現在は教室に通いながら、自宅で作品づくりをしています。額の素材やガラスにもこだわっていて、作品は「もったいなくて手放せない」とのこと。



▲善太郎さんを囲んでの記念写真

伊達地区本部と年金友の会は1月17日、100歳の誕生日を迎えた、伊達市梁川町の三浦善太郎さん宅で感謝状贈呈式を行いました。贈呈式には、萩原嘉昭伊達地区担当常務、三浦利夫年金共の会白根支部長、紺野和之梁川総合支店代表支店長、引地正人白根支店長が出席。感謝状や記念品などをそれぞれ贈呈しました。

善太郎さんは元気の秘訣について、「畑仕事をする」と、好き嫌いなく何でも食べること」と話してくれました。

三浦善太郎さん 100歳長寿祝う 感謝状や記念品贈呈



▲受賞式で表彰される受講生

受講生15人に 修了証交付 伊達地区農業塾閉講式

昨年5月に開講した伊達地区農業塾が全6回のカリキュラムを終え、閉講式を12月18日、伊達地区本部で開きました。桃コース・きゅうりコース併せて修了した15人に修了証が交付されました。

萩原嘉昭伊達地区担当常務が一人ひとりに修了証を手渡し、「桃ときゅうりは伊達地区でメインとなる農作物。今回取得した技術を活かして、将来農業の担い手になって頂けるように期待しています。」と農業塾を受講した受講生にエールを送りました。

伊達地区は、各種農業資材を一堂に集めた「平成30年農業資材商品説明会」を1月25・26日、伊達市ふるさと会館MDDホールで開き、協賛するメーカーや企業がさまざまな農業資材を出展。管内の生産者らが来場し賑わいました。

会場の各ブースには、農業生産に欠かせない、肥料や農薬、生産資材、出荷資材など、農業資材を数多く展示し、協賛55社の各スタッフが、使用方法などを詳しく説明しました。また、主要作物の栽培講演会も行われました。



▲各メーカーなどのブースが並びました

農業資材各種を 一堂に展示 農業資材商品説明会



▲多くの生産者が参加した講演会

多くの生産者が 栽培管理学ぶ 梁川きゅうり講演会

きゅうりの品質向上や生産拡大に向け、きゅうり生産部会伊達地区梁川支部は1月22日、「きゅうり栽培講演会・資材説明会」を伊達市の梁川中央交流館で開き、約120人が参加し熱心に栽培方法などを学びました。

橘一郎同支部長は、「この講演・説明会で、栽培のヒントを見つけ、会員それぞれが品質向上と生産量拡大につなげよう」とあいさつ。

講演会では、㈱ときわ研究場の小田耕司社長が「耐病性品種の特性と管理方法」について講演したほか、資材メーカーによる商品説明も行われました。



▲感謝状を受け取る萩原常務（右）

伊達警察署で12月25日、交通安全運動等に協力があった、団体・個人を表彰する感謝状贈呈式が開かれ、伊達地区本部が表彰を受けました。

今回の感謝状贈呈式には、伊達市内から団体の部で12団体、個人の部で12人が出席。伊達地区本部からは萩原嘉昭伊達地区担当常務が出席しました。式では、井上俊彦伊達警察署長が「伊達市民の安全・安心な生活の確保に、今後も皆様の協力をお願いします」と話しました。

交通安全運動 協力で表彰 伊達警察署から感謝状



▲楽しそうにカップ寿司を盛り付ける園児

親子で 楽しく「食農」学ぶ 保原幼稚園で食農教室

伊達市保原幼稚園で1月19日、「親子食農教室」が開かれ、園児と保護者ら260人が参加し、JA伊達地区のベジフルコーディネートが地元の野菜を使った料理を紹介しました。

料理では、地場産の野菜を使った「カップ寿司」作りに親子で挑戦しました。地元で採れたお米やブロッコリー、卵などの食材を使って、思い思いに盛り付けを楽しみました。出来上がったカップ寿司で、全員で会食を楽しみました。

調理のほか、「野菜のお話」も行われ、水に浮く野菜・沈む野菜の実演なども行われ、園児たちは興味深く耳を傾けていました。

伊達地区で1月20・21日、新作の振り袖や訪問着、帯、各種和装小物などを数多く取り揃えた「新春京都新作ブランドきもの発表会」を伊達市保原町で開きました。

会場には、色鮮やかな100点以上の新作振り袖や訪問着が並んだ他、母親の思い出の振り袖を新作同様に蘇らせる仕立て直し、振り袖のオーダーレンタル、専属カメランによる前撮り撮影会なども行われました。また、高級バックフェア、人気ブランドジュエリー、腕時計、福袋の販売なども行われ大いに賑わいました。



▲新作の振り袖を試着する来場者

新作の振り袖など 色鮮やかに きもの発表会開催



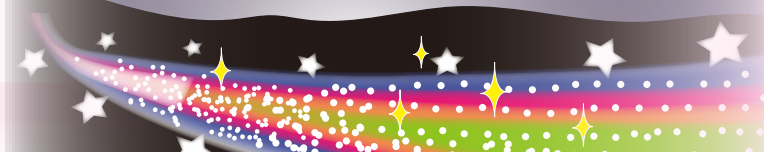
▲あんぽ柿をPRする安彦専務

JAと伊達市・桑折町・国見町などで組織する伊達地域農業振興協議会は12月12・13日、東京都大田区の東京都中央卸売市場で伊達地区特産のあんぽ柿のトップセールスを行いました。

大田市場内の東京青果㈱の協力でマンモス競売台前で開催した催しには仁志田昇司伊達市長や高橋宣博桑折町長、佐藤弘利国見副町長、安彦慶一代表専務、伊藤昌廣専務、数又清市営農担当常務、萩原嘉昭伊達地区担当常務、宍戸里司あんぽ柿生産部会長らが出席。ミスピーチキャンペーンクルー2人が試食を振る舞いPRしました。

市場関係者は「やわらかくとてもおいしい」「福島のだんご柿が食べられてうれしい」と試食する姿が見られました。安彦専務は「多くの皆さんにあんぽ柿を食べしてほしい」と、販売の協力を呼びかけました。

特産のあんぽ柿を 首都圏でPR 大田市場でトップセールス



二本松市の農産物を全国へ

「四季のかおり」発送

当JAや二本松市でつくる四季のかおり委員会は12月21日、二本松市産の新鮮な農産物を詰め込んだふるさと二本松「四季のかおり」冬コースを全国の会員に発送しました。

同日、こらんしよ市二本松店では生産者やJA職員が各生産者から集めた農産物を一つずつ箱詰めしていきましました。今回は新米「コシヒカリ」やごぼう、りんご、長いも、イカ人参などを詰め込みました。

参加した生産者は「皆さんに二本松のおいしい農産物を味わってもらいたい」と話していました。



▲箱詰め作業をした生産者の皆さん

三浦さんの100歳祝い

感謝状贈呈



▲100歳を迎えた三浦さん（前列中）

二本松市田沢の三浦一さんが1月1日に100歳を迎えたことを祝うため当JAは4日、三浦さんの自宅で百歳賀寿感謝状贈呈式を開きました。贈呈式では菅野徳一郎安達地区担当常務が感謝状を、年金友の会岩代支部の千葉喜良支部長が記念品、三瓶浩之岩代支店長が花束を手渡しました。

一さんは92歳までバイクに乗り、田んぼの土手の草刈りを行っていたそう、長寿の秘訣は「毎日お酒を飲むこと」と話していました。

育てた大豆で豆腐作り

二本松市立石井小学校

安達地区本部は1月11日、二本松市立石井小学校で食育の授業を実施し、同校の農業クラブに所属する児童16人が豆腐作りに挑戦しました。

豆腐作りでは職員が作り方を説明すると、児童たちは大豆がどのように豆腐になっていくのか興味津々に話を聞いていました。その後作業を行い、豆腐とおからサラダを完成させました。今回材料に使った大豆は、児童たちが一生懸命育てて収穫した大豆です。

最後に試食した生徒は「おいしい」と喜んでいました。



▲温めた豆乳を味見する児童

獅子頭と団子さしで新春祝う

東和支店



▲精巧に作られている獅子頭



▲入口を華やかに彩る団子さし

地域の利用者に季節を感じてもらおうと東和支店の入り口から、獅子頭と団子さしが登場しました。

この獅子頭は組合員さんが手作りのものです。木材を使い細部までしっかりと精巧に作られており、とても迫力ある作品になっています。

団子さしは支店職員が協力して完成させました。装飾には鯛の飾り物や丸めた団子などをあしらひ、華やかに入り口を彩っています。展示は2月中旬頃までです。

あさつき出荷最盛迎える

目揃え会で出荷規格を確認

安達地区ではあさつきの出荷が最盛期を迎えています。今年は10月の天候不順の影響で生育が遅れましたが、品質は良好。作業は3月上旬まで続き、県内や仙台市などに出荷します。

同地域で育てられるあさつきは、新芽状で白く太い茎が特長。同地域では25戸の農家が4・3畝作付けしています。当JAでは今年、



▲出荷規格を確認する生産者



▲あさつきを水洗いする佐藤副部会長

約40ノの出荷を見込んでいます。安達営農センターでは12月26日、出荷規格目揃え会を開き、生産者約20人が参加しました。目揃え会ではやさい部あさつき部会の佐藤喜平副部会長が「今年も品質の高いあさつきを出荷していきましょう」とあいさつし、参加者の皆さんは現物を見ながら出荷規格を確認していました。

あさつきを30センチ栽培する佐藤副部会長は同日、掘り起こしたあさつきを水で洗い、袋詰めなどの作業に追われました。「天候が悪かったのが不安もあったが、今年も太いものが収穫できている」と話していました。

次年度に向け品種検討会

やさい部本宮支部

安達地区やさい部本宮支部は1月11日、同地区本部で長ネギ品種検討会を開き、生産者約30人が参加しました。

検討会では安達農業普及所の普及員が29年度の反省と次年度の対策について、トキタ種苗（株）の担当者が長ネギの品種特性について説明。ネギ担当の指導員がネギ栽培試験結果について報告しました。

参加者の皆さんはメモを取りながら熱心に講師の話しを聞き、「来年度は天候に合わせた栽培管理を徹底していきたい」と話していました。



▲長ネギ品種検討会の参加者

講習会に向けて試作品作成

米粉料理研究会



▲料理を楽しむ参加者

安達地区米粉料理研究会は1月26日、1月30日に開催する講習会に向けて、研修会を男女共生センターで行いました。当JA職員や米粉料理研究員ら7人が参加しました。

同研究会では年間を通して、地元産の米粉や自家農園で栽培した旬の野菜などを使用して、講習会や研修会などを実施しています。今回は、米粉ロールケーキ・米粉ごぼうコロッケ・米粉入りシチューの3品を作成。参加者の皆さんは手順などを確認し合いながら調理しました。

調理後は講習会や今後の活動についてなどを話し合いました。



そうま地区は1月13日、南相馬市鹿島区の鹿島農村環境改善センターで「そうま地区稲作振興大会」を開催し、生産者・関係者等約200人が参加しました。

大会では、平成29年産米集荷実績や作柄概況、販売状況などの米穀情勢や平成30年産米の基本方針として天のつづを主軸とした「売れる米づくり・実需者の求める米づくり」を意識し、複数年契約栽培を基本とした生産拡大を進めると共に、安定した米の販売取引の拡大に努め、農家所得の向上に取



▲講演の様子

平成30年度の基本方針を示す そうま地区稲作振興大会

り組むことを説明しました。

平成29年作付実績は新地町、相馬市、南相馬市、飯館村の4市町村で合計4682haでしたが、平成30年は合計5140haの作付を計画しています。

講演では、木徳神糧株式会社執行役員の石森好宏氏が「米市場流通の現状と今後の動向について」と題し、多収穫品種である主食用米天のつづの作付増加を訴えました。

また、安全・安心な米づくりのために第三者認証GAPにも取り組み、全量全袋検査を継続し、安全の確保をする予定です。



▲基本方針の説明の様子



▲意見発表をする柚原さん

そうま地区青年連盟原町支部の柚原友加津さんは1月17日・18日の両日に山形市で開かれた平成29年度東北・北海道地区JA青年大会の「JA青年の主張の部」で意見発表を行いました。東北・北海道農協青年組織協議会主催。

柚原さんは「農業と幸福度」と題して、震災で南相馬市の農業者が減数している中で、自らが経営している酪農に農業の魅力を感じ、物を生み出し、美しい景観を作ることができるとクリエティブな産業である、農業が強い国こそ市民の幸福度が高いことを主張しました。

柚原さんは昨年11月に開催された福島県JA青年大会の「青年の主張の部」で最優秀賞を受賞し、本大会に福島県代表として出場しました。



▲意見発表をする柚原さん

当JAそうま地区の原町園芸部会は1月22日から23日にかけて北海道で視察研修を行い、部会員21人が参加しました。

はじめに、丸果札幌青果(株)を訪問。同園芸部会では今年度、ブロッコリー、春菊、みず菜を札幌市場に出荷・販売し、前年度を上回る販売ができたことから「さらなる出荷を期待しています」と力強い言葉を頂きました。

苫小牧にある大型施設農場「Jファーム」では独自の暖房システムによるリーフレタス・トマトの栽培を見学。参加者は先進的な技術に興味津々の様子でした。



▲市場内を見学する参加者

札幌で生産・販売の現場を見学 原町園芸部会視察研修

当JAそうま地区青年連盟鹿島支部の盟友など9人は1月7日、静岡県の富士スピードウェイで開かれた「第11回スーパーママチャリグランプリ」に参加しました。ママチャリレースへの参加に加え、そうま地区産の米「天のつづ」を大会の協賛品として提供。さらに出場者や観覧客へまき米を行い、そうま地区をPRしました。

同支部がママチャリレースに参加するのは今年で6回目。震災後から風評被害払拭やそうま地区のPRのために出場し続けています。



▲爽やかな青空で天気にも恵まれました



▲まき米は毎年大好評です

今年も「天のつづ」25kgを協賛品として提供し、レース中の催しでは300g入りの小袋200袋を来場者に配布しました。

レースには、特別な装飾を施した専用ママチャリで出場し、9人で交代しながら7時間を走破。合計で118.6kmを疾走し、全国から集まった1127チーム中762位の結果でレースを終えました。

参加した盟友は「ママチャリレースは少人数で過酷だったが今年もそうま地区産米を配布できて良かった」と話しました。

そうま地区女性部相馬支部は1月8日、今年の農作業が順調で豊作であるようにと願い、相馬中村総合研修センターで、毎年恒例行事の「稲穂付け」を行いました。

参加者たちは、紅白餅を小さく丸めて枝に付けたり、恵比須・大黒・鯛・ダルマなど縁起の良い煎餅もちを飾りながら仕上げました。

9日には、同方部の伊東千恵子支部長・杉本ちか子さん・阿部富美子さんがそうま地区本部を訪れ、星保武常務に「今年も飾ってください」と手渡しました。



▲女性部相馬方部員から稲穂を受取る星常務と羽根田本部長

豊作祈願として「稲穂付け」 そうま地区女性部相馬支部

世界に一つだけの 一閑張りを制作 女性大学手芸教室

そうま地区女性大学手芸教室が1月10日、そうま地区本部で開催され、部員10人が参加しました。

一閑張りとは、竹細工の籠や箆などに和紙を張り付け、柿渋を塗って仕上げたものを言います。

受講生たちは、講師の説明を受けた後、竹かごに和紙を一枚一枚丁寧に貼り付けし、土台を仕上げていきました。

作業は2日間に分けて行われ、作業に悪戦苦闘しながらオリジナルの手提げかごを完成させました。



▲世界に一つだけのマイバックを手に

5 農家レストラン菜の花



自家農園の野菜をたっぷり使った料理

平成15年にオープンした自家農園の米や野菜を中心に地元の食材を使う農家レストラン菜の花。メニューは菜の花膳(ごはん・そば)とざるそばのみ。菜の花膳は1ヵ月ごとにメイン料理が変わり、10品目以上の料理を味わえます。

こだわりは家庭では手間がかかって多くの料理を作れないので、たくさんの品数を提供すること。女性をターゲットにしているため、店内も落ち着いた雰囲気、食事を堪能した後は、コーヒーを飲みながらつつい話が進んでしまいそうです。



落ち着いたゆっくり食事を楽しめる店内

店舗情報

●住所 相馬市百機字赤屋敷103
●営業時間 11:30 ~ 14:00
(定休日:日曜日~火曜日)
●問合せ 0244-35-2401



オーナーの阿部眞貴子さん(右)とご主人の誠さん



7 伝承鎮魂記念館



震災によって失われた相馬市の風景を後世に伝えるための施設。施設内には震災前と震災後の写真や新聞記事の展示、震災当時の映像などを上映しています。

入口正面には震災で亡くなられた458人を追悼しています。

震災直後の写真や新聞が掲載されている展示コーナー



店舗情報

●住所 相馬市原釜字大津270
●営業時間 9:00 ~ 17:00(定休日:12月29日~1月3日)
●問合せ 0244-32-1366

6 メガソーラー ●住所 相馬市磯部字芹谷地

相馬市沿岸部の磯部地区内に設置された大規模なソーラーパネル。津波の影響を受け、農作が難しい農地や宅地などを活用し、68万4000平方メートルと大規模な設置面積を誇り、設置されているパネルは約20万枚。平成29年6月から運用が開始され、ここで発電された電気は東京電力に売電します。



一面に広がるソーラーパネル

気の向くままに散歩道

おでかけ みらいろ〜ど



1 船橋屋

明治21年に創業し130年続く老舗。「いつも通り」を心がけて、東日本大震災後も1日も休まず営業を続けています。お菓子の販売以外にも相馬市内の学校給食にご飯やパンなどを提供しています。

店内には百種類以上の和・洋菓子がずらりと並び、店員さんが明るく出迎えてくれます。数ある中でも人気なのが「まどか饅頭」。皮がしっとりしていて、甘さ控えめな餡とよく合います。また、季節やイベントに合わせて作る生菓子もおおすすめです。

店舗情報

●住所 相馬市中村字大町73
●営業時間 9:00 ~ 19:30(定休日:1月1日)
●問合せ 0244-35-2784

相馬サブレと
クランツクーヘンも
おすすめですよ!



船橋屋の店員さん



人気商品のまどか饅頭(みそ皮白餡と黒糖皮こしあん)と生菓子



ショーケースには自慢のお菓子がずらり

今回は、相馬市を散策。山田秀晴理事のプロデュースのもと、おすめのスポットや復興に関係する施設などを巡りました。



案内してくれた山田理事

3 相馬総合地方卸売市場

官民の出資により設立した相馬総合地方卸売市場。相馬地方の農産物や海産物を全国各地に供給する拠点です。また、今年の4月から小・中学校13校の学校給食に相馬市産の野菜などを供給します。市場内の誰でも利用できる食堂では市場ならではの新鮮な食材を使った自慢の料理が味わえます。

店舗情報

●住所 相馬市日下石字鬼越迫101
●営業時間 7:00 ~ 14:00
(食堂) (定休日:日・水曜日)
●問合せ 0244-36-4111



新鮮な海産物をふんだんにのせた海鮮丼。酢飯には新地町産の「天のつぶ」を使用



全メニューに付くサラダや日替わり惣菜のバイキング

2 二宮尊徳の墓 ●住所 相馬市西山表西山

愛宕神社境内にある二宮尊徳(二宮金次郎)の墓。二宮尊徳の門人の慈隆尊師が江戸時代後期に二宮仕法を用いて相馬中村藩を復興させたことから、相馬中村藩の人々は二宮尊徳の遺髪をもらいうけ、墓を建てました。隣には慈隆尊師の墓があります。墓までは階段が100段くらいあるので、少し大変です。



二宮尊徳の墓(手前)と慈隆尊師の墓

4 和田観光イチゴ園

相馬市内でイチゴ狩りが楽しめる和田観光イチゴ園。このイチゴ園を管理するのは7戸のイチゴ農家でつくる和田観光イチゴ組合の皆さん。震災前は17戸の農家がイチゴ狩りを行っていましたが、震災の影響で農家の数は7戸に。ハウスも無くなってしまったため、震災後は国の復興事業を活用し、新たに70aのハウスを建設しました。

イチゴ園では現在5種類の品種を味わうことができます。今年は酸味が少なく歯ごたえがある「かおりの」という品種がおすすめ。イチゴの食べ頃は2月中旬から4月上旬頃です。



おいしいイチゴを
食べにきてください

阿部副組合長

店舗情報

●住所 相馬市和田字下柴迫94
●営業時間 10:00 ~ 16:00
(1月14日~5月31日まで)
●問合せ 0244-36-5535





▲収穫と菌床作りが重なり最も忙しくなるのが今時期だ

安達地区 渡辺 紀幸さん

- 栽培品目 しいたけ
- 栽培規模 菌床数2万5000個（ハウス7棟）

農業所得アップ みらいろ！テン

所得向上への取り組みを
紹介しています。

脱サラし椎茸専業農家へー棚確保 につなげる周年出荷の実現

本宮市白岩で菌床しいたけを生産する渡辺さん。平成12年に37歳で脱サラし、もともと魅力を感じていた農業の道を歩んでいます。地元ノウハウを指導してくれる先輩農家がいたり、始めやすさからキュウリと菌床しいたけの複合経営に取り組み始めました。しいたけは初年度、菌床1600個ほどの規模でしたが、平成24年にしいたけ専業に切り替え、夏場の出荷を始めてから規模を拡大。現在は7棟のハウスで菌床2万5000個分のしいたけを生産しています。

しいたけ専業に切り替えたきっかけは市場からの要望でした。JA全農福島しいたけ生産販売協議会の副会長を務めていた渡辺さんは、市場担当者「出荷が最盛期を迎える秋からの値段を安定的にするために、夏場も出荷して販売店での棚を確保した方が良い」とアドバイスをを受け、周年出荷を決意。しいたけ栽培の適温は13〜23℃のため、施設を冷やさなくてはならない夏場の管理は、冬場よりも労力がかかります。しかし、施設の整備や品種の検討を重ねながら1日60kg前後を継続的に出荷しています。

現在の課題は夏場に出荷するしいたけの品質です。「冬場じっくりと生

今後の目標ーいかに付加価値を 付けていくか

昨年8月、きのこ生産大手の「ホクト株式会社」がしいたけの本格参入を発表しました。今年9月から出荷が始まる予定で、全国的にも大きなニュースとして取り上げられました。渡辺さんは「コストでは絶対に負けてしまう。どうやって大手企業と対峙していくかを考えなくてはならない」と感じています。大手企業との差別化のために、身の厚い大きなしいたけが常に収穫できるよう、品種の検討も始めました。それに合わせ、新しい出荷規格やパックの形態も全農に提案しています。

渡辺さんは「新施設の導入に伴い、これから規模も広がっていくと思うが、さらに質も上げて行けるように試行錯誤を続けたい」と話していました。



▲カサが開いていない「AA品」⑤は日持ちがするため価値が高い



▲手のひらで包むように優しく収穫するのがコツ



▲作業を共に行う妻・美智子さん⑥

リンゴ整枝・せん定のポイント



果台から伸長した副梢の先端に花芽が着きますが、残しておくとながら咲き、枝がつぶれてしまいます。

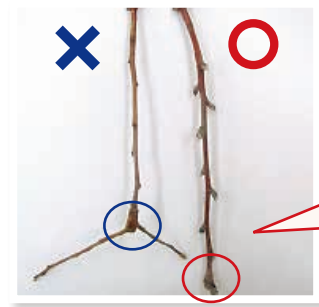
せん定の際、前もってせん除しておくことで、充実した花芽が得られる場合があります。

(写真提供：農業総合センター果樹研究所)

④ よい花芽、よい枝とは？

～せん定と摘果～

せん定作業では、枝ごとに「着果させるのか」「休ませるのか」方針を決めます。その方針に沿って摘果を行い、着果を調節して一体的に管理しましょう！！



長果枝先端の着果管理でこれだけ変わる！
左：果実をつけたので、枝がつぶれてしまった。
右：果実をつけなかったので、充実した短果枝が得られた。

④ 低樹高化 ～3.5m 以下の作業のしやすい安全な樹高で管理作業の軽労化・増収！～

① 軽労化

脚立を使っても5段までで間に合うため、上り下りが少なくなり、目通りの高さを中心に作業ができます。また、地上の作業と脚立の作業をそれぞれ半々くらいにし、脚立に体重を預けながら作業するのが疲れにくいポイントです。

② 増収

樹高が低いため、着果量を確保する工夫が必要になります。下垂枝に加えて、上向枝を結果枝として利用することで、収穫量を確保します。加えて、多くの果実が実る素性のよい結果枝を多く配置するようにして、増収を図ります。

③ 農作業の安全性の向上

現在、管内では75歳以上の農業者が3割を超えており、高齢化が進んでいます。低樹高化により、脚立を使った危険な高所での作業が減り、安全性が向上します。



間伐にあわせて樹高の切り下げを徐々に実施しましょう！

- 将来的に「第1主枝」は1.2m 以上の高さから作り、「第2主枝」は2m以下に収めます。
- 側枝には「果台あがり」の下垂枝や上向枝を立体的に配置して収量を多くします。

○半わい化

JM2台 または マルバ台(25cm) + JM7 中間台(20cm)

改植・新植する場合、マルバ台を低樹高化するよりも、最初から「半わい性台木」を利用した方が、マルバ台のような仕立て方で低樹高化が容易にできるようになります。

マルバ台は地上に出すこと！

① 花芽分化状況

本年の「ふじ」の花芽分化率は、果樹研究所では67%と平年よりやや低い状況でした。

現地の花芽分化率は、27～55%と昨年より低く、また園地間で差がある状況です。同様に、横径が3mm未満の弱小芽率も8～32%と園地間で差がありました。

② 整枝・せん定の基本的な考え方

- ①花芽がつく、質のよい枝を配置します。花芽をつくるのが、結果的によい枝づくり・樹づくりにつながります。
- ②葉面積を確保します。
- ③木漏れ日が樹冠内部まで射すようにします。

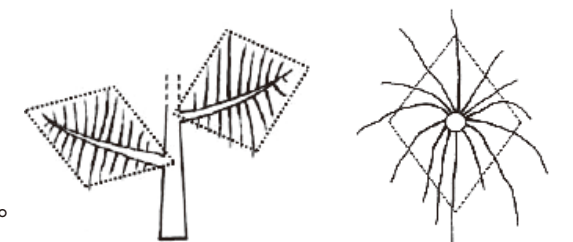
③ 整枝・せん定の手順

① 大枝（骨格枝）の整理

- ・園地全体を眺め、混んでいるところの大枝から整理します。
- ・夏場でも、隣接する樹と1m以上の間隔が空くように間引きます。
- ・追い出しは一度に行わず、基部の枝を数年かけて間引き、枝の勢力を抑えます。

② 中枝（側枝）の整理

- 【1】基部に空間をとります。
リンゴワタムシやカイガラムシ類対策になります。
- 【2】主軸を明確にします。
主軸を負かす枝は置かないようにします。
- 【3】主軸上の枝は上下に交互に配置し、枝に厚みを持たせます。



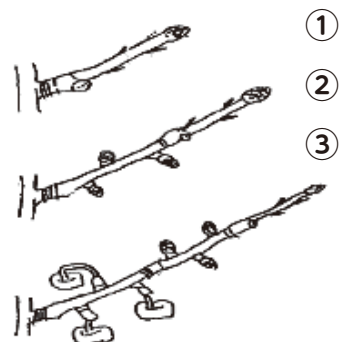
①横から見て、ひし形 ②先端から見て、ひし形

◎下垂枝の扱い

- ・下垂枝の長さは1～1.5m とし、10個程度実らせませす。果台の入った長く重い下垂枝は揺れにくく、揺れてもゆっくり揺れるので、「風害に強い枝」となります。
- ・下垂枝を強めに切り上げると急に芽数が減るため、枝が横に広がってしまいます。基部付近の枝を間引く（流す）程度とし、枝をコンパクトに数多く配置しましょう。
例：風船を上下から押せば横に広がる。
- ・下垂枝先端が伸びなくなって初めて、少しだけ切り上げます。
それでも次年に反応しないようなら間引きましょう。

③ 小枝（結果枝）の整理

- 【1】花芽の着生しやすい「果台あがり」の枝を発育枝として残します。
- 【2】果台枝は勢力が落ち着きやすく、摘果を早めることで花芽を充実させることができます。また、えき花芽の着生が少なく、充実した発育枝を残すと、翌年に短果枝を確保しやすくなります。



JAの農業振興支援事業を活用
農業所得アップ優良事例

当JAでは今年度、4億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

優良事例
1

福島地区：きゅうり生産農家
栽培品目・面積：きゅうり10a



①項目	パイプハウス増設	
②活用した支援事業	野菜生産拡大事業(施設導入)	
③事業活用前の課題	長期収穫ができるきゅうりへの品目変更及び面積増反。	
④取り組んだ方策	主力で栽培していたにがうりから長期出荷が可能なきゅうりに品目を変更し、平成28年にパイプハウスを1棟増設した。パイプハウス事業費858,220円のところ558,220円で導入。	
H27実績 販売数量・販売金額	数量 4,320kg	金額 134.9万円
H28実績 販売数量・販売金額	数量 10,965kg	金額 392.6万円
前年比	数量 254%	金額 291%
⑤取り組み後の状況	きゅうり無加温促成栽培、抑制栽培の2作型に取り組み、冬期間は直売所向け野菜を栽培。施設を有効利用し、毎年反収(収穫量)を増加している。	
⑥農家コメント	夫婦2人でのきゅうり栽培、既存ハウスに隣接していた露地野菜畑も販売向けにハウスを建てたいと考えていた。JAの事業を利用し、きゅうりの栽培を実施して、反収が増えたので大変よかった。今後もJAの事業を利用して、経営の安定を図って行きたい。	

優良事例
2

伊達地区：スナップエンドウ生産農家
栽培品目・面積：スナップエンドウ1.4a



①項目	パイプハウス新設による複合経営	
②活用した支援事業	パイプハウス新設支援事業	
③事業活用前の課題	春先の収入源の確保。	
④取り組んだ方策	パイプハウス事業費1,044,360円のところ、事業活用により522,180円で導入。	
H29実績 販売数量・販売金額	数量 100kg	金額 12.5万円
⑤取り組み後の状況	ハウス導入による高品質な農産物の安定的な生産及び所得向上に繋がった。	
⑥農家コメント	春先の所得確保としては、ハウスは必須。今回の農業振興支援事業は補助率もよく、導入しやすかった。今後もハウスを活用し、所得確保に努めていきたい。	

JAふくしま未来では来年度以降も支援事業を検討しています。情報は広報誌等でお繋ぎさせていただきますので、ご確認よろしくお願ひ致します。なお、補助事業内容、助成率は地区により異なります。

営農情報

営農情報

伊達地区若手農業者の集い ～若手農業者の活性化を図る～

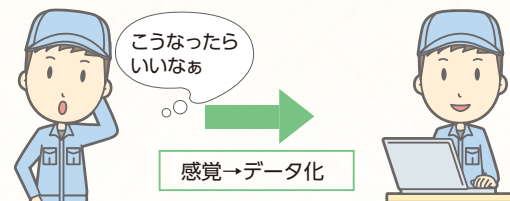
若手農業者の資質向上と交流を図ろうと伊達地区は1月15日、セレビアスカイパレスで若手農業者の集いを開き、管内の20～40代中心の若手農業者34人が参加しました。集いでは講演や意見交換などを行いました。



面積：8ha
販売先：JAきみつ中心
出荷時期：11月上旬～7月上旬

アドバイス

- ①農業に取り組む姿勢を明確にすること。
 - ・自分がどのような農業をしたいのか考える。
 - ・時代のニーズに合わせた農業形態を目指すこと。
 - ②これまでの感覚(気温・湿度など)を数値化して今まで以上に確実な作業効率、改善、良品多収を目指すこと。
 - ・統計、栽培の数値化等を行いリスクを減らす。
- (例) 前年度の実績を確認し販売計画を立てる。
数値化し来年、再来年と結果を残していく。



- ③農業も他産業と同じ尺度・価値観・労働の対価を持つ必要がある。
- ④経営者として販売・ビジネスをする必要がある。
 - ・農業を事業(会社経営・ビジネス)として考え、労働環境の改善や事業の効率化・合理化を図る。

和牛せり情報

和牛せり情報

■JAふくしま未来実績(開催日 1月16日・17日)										
										単位:円(税込)
性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	63	62	763,194	1,345,680	424,440	292	2,615	289	802,039	-38,845
去	98	98	814,033	1,229,040	437,400	317	2,566	283	854,548	-40,515
計	161	160	794,333	1,345,680	424,440	307	2,584	285	834,013	-39,680

■福島県家畜市場(開催日 1月16日・17日)										
										単位:円(税込)
性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	328	325	709,281	1,345,680	259,200	291	2,441	291	784,196	-74,915
去	452	450	809,203	1,298,160	397,440	317	2,550	283	867,634	-58,431
計	780	775	767,300	1,345,680	259,200	306	2,507	287	829,874	-62,574

■乳牛せり市場(開催日 1月23日)										単位:円(税込)
	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比		
ET和雌	3	383,400	447,120	314,280	86	4,458	525,420	-142,020		
ET和雄	7	561,446	621,000	464,400	108	5,206	558,576	2,870		
乳雄牛	43	146,628	205,200	1,080	76	1,934	111,687	34,941		
乳去勢	1	210,600	210,600	210,600	309	681	—	—		
F1雌(育成)	7	324,617	357,480	226,800	294	1,106	391,338	-66,721		
F1去(育成)	6	356,580	384,480	308,880	303	1,175	349,920	6,660		
F1雌(スモール)	49	186,444	216,000	59,400	75	2,497	210,497	-24,053		
F1雄(スモール)	59	269,249	306,720	30,240	79	3,420	276,309	-7,060		

ワンポイント
アドバイス

子牛を丈夫に育てるには、母乳が番大事です。すべての母牛が乳をたくさん出しているとは限りません。子牛の状態をよく観察し、足りない場合は代用乳を与えましょう。

和牛せり市場・乳牛せり市場



営農組合と果実・野菜・花卉等の 家族農業で地域を守る

～福島地区管内・平田～

東北高速自動車道の福島トンネルを北側に抜けると、両側に水田地帯が広がっている。この地帯が今回紹介する山田・小田・平石地区である。県北地方といえば、まず果樹地帯という印象が強いが、この地域は稲作を中心に、次いで小菊、もも・ぶどう・りんご、きゅうり等が栽培され、平成16年には34haのぶどう団地も造成された。

■平石営農組合の設立

平石地区の水田基盤整備は、昭和40年代から50年代にかけて実施してきたので、現在の1ha区画とちがい10aから20aの水田が多い。この地区の農業従事者も高齢農家が多く水田の維持、管理が難しくなっていた。このため行政機関やJAから「人・農地プランの策定」「農地中間管理事業」の事業内容を聞き地区内で相談の結果、この事業の受け皿として平石営農組合を平成28年2月21日に設立した。



組織代表者の皆様：前列左から丹治恵美子女性部平石支部長・太田與一平田地区農振協議会会長・齋藤貴裕組合長・齋藤長三郎JAふくしま未来理事
後列左から丹治正志副組合長・齋藤善一福島南支店運営委員会委員長・横山清一副組合長

■経営状況

平石地区では水田面積約65ha、現在組合参加農家は42戸、うち農地中間管理機構への貸手が36戸、水田18haで、またオペレーターとなる借手は6戸となっている。この組合は集落営農組織のため、機構からは個人が借り受けている。農業機械はこの組合で共同利用をしているが、機構からの「地域集積協力金」は機械の

保全、修理代などに充当している。農地集積のほか、放射性物質吸収抑制対策としての塩化カリの散布や、耕起、田植え、稲刈りの受託作業にも取り組んでいる。

■今後の取組

平石地区に限らず平田地区では、1筆の水田面積が小さいため、今後担い手の借手が出にくい課題を抱えている。このため平田地域全体で担い手への農地の集積・集約を進めるため、「農地中間管理機構関連農地整備事業」を計画している。

平石営農組合の齋藤貴裕組合長は、「私はシイタケ栽培で農業収入を得ていたが、東日本大震災の放射性物質の影響で休業を余儀なくされており、現在勤めに出ている。この農地整備事業が採択されれば、この集落営農組織を農地所有適格法人として法人化させ、組合としてもっと農地集積を拡大してオペレーターに専念していきたい」と未来を語ってくれた。

また、平田地区農振協議会の太田與一会長は、「私はもも・りんご経営で息子に経営を継承中である。花卉・野菜等でも後継者がいるのは心強い。でも、福島西道路が南に延びるので、土地の買収と工事が始まっている。より一層、農地は担い手に



集約していかなくては荒れてしまふ」と担い手への集積に期待していた。

さらに齋藤すみ子女性部平田支部長は「毎年4月のひらた花咲まつりは地域の一大行事。女性部も最大限の支援で地域を活性化させたい」丹治恵美子女性部平石支部長は「女性部新規加入者の受け皿づくりも行っているので、多くの方の加入により更なる活動の幅を広げていきたい」と話された。

△平田地区の主要品目▽

H28年度JA販売高
米穀4178万円（主食用7149袋／30kg）（飼料用米（3883袋／30kg）、もも1200万円、りんご380万円、ぶどう770万円、きゅうり340万円、小菊・花木1億1600万円、畜産1600万円。

輝きを未来へ 福島明成高校

「3年間の学習 の集大成」 課題研究発表を開催



研究動機などを説明している生徒

バラエティに富んだ研究内容

福島明成高校では1月22日、3年生の研究の成果を発表する課題研究発表会を開きました。この日は生物生産科の栽培飼育コースと施設園芸コース、生産情報科の2学科で発表会を行い、全20班がこれまでの研究内容や成果、今後の課題などを1、2年生や先生の前で報告しました。

栽培飼育コースの稲作専攻班の皆さんは「米の6次産業化を目指して」と題して、米の消費拡大に向けて米粉ドーナツや米アイスなどのスイーツ作りを行い、食味アンケートを取りながら結果を分析した内容を発表しました。今回の研究ではアンケー



真剣な表情で原稿を読み上げる畑作専攻班の生徒

ト結果を活かして2回目の試作品を作ることができなかったことから、稲作班の皆さんは「この研究をぜひ後輩の皆さんに引き継いでほしい」と呼びかけていました。

同コースの畑作専攻班は「サツマイモを利用して地域と交流」と題して、地元の保育園の園児とサツマイモ栽培を通して交流したことやサツマイモの品種や調理法の違いによる糖度の変化の研究成果を発表。園児と一緒にいう芋掘りが雨で中止になるなど悔しい出来事もありましたが、研究が全て貴重な経験になったことを報告しました。

施設園芸コースの果樹専攻班の「ナシの省力化栽培を目指して 新一文字仕立てを試みて」の発表では、初めてでも取り組みやすい新一文字仕立てと慣行の3本仕立てを栽培しながら、生育を比較そのデータを分析しました。また規格外加工品の製造にも取り組んだ内容を発表し、

「もっと深く研究したかった」と悔しさも見せていました。



ユーモアを含んだスライドで発表する果樹専攻班の生徒

生産情報科の発表では「3Dプリンターの研究」で、たくさんの方の失敗を重ねながら作品をつくり上げて3Dプリンターに理解を深めたことや、「経営マーケティング班一年間の研

究」として起業して売れる商品作りに挑戦したことなどを説明しました。生徒たちは「この研究で学んだことを、今後就職したときにも活かしたい」とこれからの目標も生き生きと話しました。



3Dプリンターで仕上げた作品について説明する生徒

それぞれの発表テーマは左記の通りです。

【栽培飼育コース】

専攻班	発表内容
稲作	米の6次産業化を目指して
畑作	サツマイモを利用して地域と交流
大家畜	ひなちゃんと大家畜班の全共までの道のり
小家畜	鶏卵のビタミンAを増やそう
飼料作物	自家製堆肥による作物の影響
小家畜	鶏の卵の黄身の色を変える
小家畜	卵油の抽出
畑作	かぼちゃのおはなし

【施設園芸コース】

専攻班	発表内容
野菜	Let's Try 甘いメロン メロンにストレスを与えたら甘くなるのか
草花	園芸活動を通して地域貢献を目指す研究
果樹	ナシの省力化栽培を目指して 新一文字仕立てを試みて
果樹	モモの研究 ヨーグルト散布の記録
野菜	スイカとイチゴ物語
草花	エディブルフラワーで街を元気に!! 福島明成草花専攻班の新たな挑戦
野菜	規格外野菜の利用

【生産情報科】

発表内容
レゴマインドストームによるプログラムの研究
「インターネット販売部」ーネット販売から学ぶものー
「学校生産物販売所」の利用について
3Dプリンターの研究
経営マーケティング班一年間の研究

伊達 新春を着物姿でお祝い

女性部伊達地区本部は1月13日、伊達市保原町のセレビアスカイパレスで新春きものパーティーを開催し、女性部員など170人が参加しました。色とりどりの訪問着や色留袖、振袖などで着飾った参加者が一同に集まり、着物を着る楽しさや良さを再発見しました。

アトラクションでは「東北民謡 浅野光子」、「津軽三味線 佐藤兄弟」のコンサートを行い、柔らかな民謡の歌声や力強い三味線の演奏が会場内に響き渡りました。お楽しみ抽選会では豪華賞品が参加者に贈られました。



抽選会を楽しむ参加者

そうま 鹿島支部研修交流会を開催

女性部そうま地区鹿島支部は1月6日、支部の美化と部員の懇親を深めるために、鹿島営農センターで花の寄植えをし、部員30人が参加しました。

寄植えの花材には鹿島区の浦島英宣さんが生産したパンジーやビオラなどを用いて、部員の皆さんは、協力しながらプランターへの土入れ、花のバランスを相談しながら寄植えを行いました。寄植え終了後は市内で昼食会を開催し、親睦を深めました。

なお、寄植えされた花は鹿島総合支店前に飾られています。



花と一緒に参加者全員で記念写真

伊達 正月飾り作りで新年の準備

女性部伊達地区本部は12月14日、今年度最後のみらい塾を同地区本部で開催し、受講生23人が参加しました。

伊達地区の菅野紀子次長が「今年のみらい塾も今回で最後になります。これからも女性部の活動がより良いものになるように頑張っていきたい」とあいさつし、全講座に参加した16人に皆勤賞を送りました。

講座では講師の朽木直博さんに教わりながら正月飾り作りに挑戦。作業を終えた部員は、「正月飾りづくり体験ができて良かった。よい年を迎えられそう」と喜びました。



楽しみながら作業をする参加者

福島 部員集いお餅づくり

女性部福島地区大森支部の「大森コスモス加工クラブ」は12月24日から29日にかけて、切り餅作りを農産物直売所こくら大森店の加工所で行いました。今年は約200kgを作り福島地区食材センターや直売所で販売しました。

また、平田支部では26日に、地域に暮らす一人暮らしの高齢者へプレゼントするための鏡餅作りを平田地区活性化センターで行いました。部員の皆さんは出来立ての鏡餅を届けながら年末のあいさつを交わしました。



力が要る餅切り作業（大森）



一つ一つ可愛く飾り付け（平田）

安達 コンサートや踊りで新年祝う



本田さんの歌に合わせて踊る部員

女性部安達地区本部は1月6日、ラポートあだちで新春のつどいを開き、女性部員や役職員など約140人が着物で参加しました。

同地区本部の菅原ハル子女性部長が「今年も魅力ある活動を展開しましょう」とあいさつ。菅野孝志組合長が祝辞を述べ、武田満里子前女性部長の発声で乾杯しました。

障害と向き合いながら活動する歌手の本田知美さんのコンサートや、女性部員によるカラオケや踊り、お楽しみ抽

女性部 活動紹介

選会を実施。コンサートでは歌に合わせて踊る部員もいて、会場内は盛大に賑わいました。最後は「きずなの力音頭」を全員で踊り気持ちを一つにしました。



踊りを披露する部員

本部 プロ画家に教わる「切り絵教室」開催



作品を手に久保氏（中央）と記念写真

切り絵画家久保氏による切り絵教室を1月25日に北信支店で開き、女性部員など40人が切り絵の世界を体験しました。

同教室は4月1日から「とうほう・みんなの文化センター」で開かれる久保氏の展覧会の事業の一環。久保氏に教わりながら「風物詩」や「旬の食材」をテーマに色紙を切り抜き、作品を仕上げました。

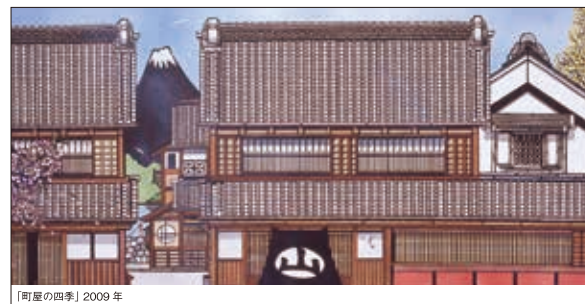
久保氏は「切り絵の道具は100円ショップなどでも揃えられるので取り組みやすい。新しいことにどんどん挑戦する

ことで、生活を楽しくしてほしい」と話し、切り絵の魅力をアピール。参加者は「切り絵はただ絵を切るだけだと思って

いたけど、細かいところの難しさなどを体験すると達成感があるし、切り絵の作品を見る目も変わった」と話していました。



切り絵を楽しむ参加者



「町屋の四季」2009年

福島民報 創刊125周年記念事業

切り絵画家 KUBO Shu 久保 修

2018年
4月1日[日]—5月6日[日] 10:00—17:00 最終入場は 16:30

【入場料】 一般：前売り800円（当日1,000円）小中学生：前売り300円（当日500円）小学生未満無料
【会場】 とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）〒960-8116 福島市春日町5-54 TEL.024-534-9191
【主催】 福島民報社事務局 〒960-8602 福島市太田町13-17 TEL.024-531-4171
JAふくしま未来でも前売券取扱い中。お近くの支店でも購入できます。
まずはご連絡下さい。JAふくしま未来 地域支援課 TEL.024-573-1004

久保 修（くぼ しゅう）1953年山口県生まれ。1974年、大学の建築科在学中に切り絵を始め、花紙新聞や朝日新聞での連載1行の連載、雑誌「あまから手紙」の表紙絵などを担当。国内外での講演開催や作品展も多数開催。

元気にすくすく

みらいっ子

★ 福島地区 ★



- 福島市
- 佐藤 康治さん、真理子さんのお子さん
たくみ
 - 拓実くん(1歳)

いっぱい遊んで、
元気に大きく
育ってね!!

★ 安達地区 ★



- 二本松市
- 本田知規さん、恵さんのお子さん
かなで
 - 奏ちゃん(3歳)

元気いっぱい
やさしい子です。
ひよこちゃんか
大好き!

★ そうま地区 ★



- 南相馬市原町区
- 大内真司さん、彩奈さんのお子さん
あさひ
 - 朝陽くん(4ヶ月)

明るく元気な
男の子に育って
ね!パパとママ
はいつもニコニ
コしてる朝陽が
大好きだよ♡

★ 伊達地区 ★



- 伊達市月舘町
- 齋藤 良太さん、愛子さんのお子さん
のあ
 - 乃絢ちゃん(1歳)

元気にすくすく
育ってね!

ベジフル

みらいろキッチン

日本野菜ソムリエ協会認定の「野菜ソムリエ」が、旬の野菜を使ったおすすめの料理を紹介します!今回は、野菜ソムリエのH I S A K Oさんがおすすめる、旬の「春菊」を使った「春菊とあんぽ柿の白和え」を紹介します。

今回のメニュー 春菊とあんぽ柿の 白和え

鍋物や天ぷらが定番の春菊をあんぽ柿と一緒に上品に仕上げました。



一般社団法人
日本野菜ソムリエ協会
■ 野菜ソムリエ
HISAKOさん
プロフィール
当JAの職員。地域支援
担当として女性部の料理教
室などを企画するほか、JA
の農産物PRチームにも所
属し、農産物の消費宣伝活
動にも取り組んでいる。



材料 (2人分)

- 春菊 6本
- あんぽ柿 1個
- 豆腐 1丁
- 醤油 大さじ1
- すりごま 大さじ1
- みりん 小さじ1
- 塩 適量

作り方

- ①豆腐を水切りします。
- ②春菊は芯が柔らかくなるまで茹で、2～3cmに切ります。
- ③あんぽ柿は5mm幅で短冊切りにします。
- ④ボウルで豆腐をつぶしAの調味料と春菊、あんぽ柿を入れて混ぜ、容器に移したら完成です。





健康寿命と福島県における生活習慣病の状況について

鹿島厚生病院 地域医療連携室
看護師長
栗田 浩子 氏

【死因別統計（人口10万人当たり）】
福島県は、がん・心疾患・脳血管疾患の生活習慣病が上位を占めています。また、生活習慣病による死亡者数は、総死亡者数の半数以上となります。がんの発生率は肺がん・胃がん・大腸がん・膵臓がん・肝臓がんの順になつていきます。さらに、福島県は、メタボリックシンドロームが関連する急性心筋梗塞は、男女とも1位・急性心

【平均寿命と健康寿命の差】
平均寿命と健康寿命の差が「健康上の問題で、日常生活に影響がある期間」となります。男性で約9年、女性で約12年の長い期間となります。

【健康寿命】
日常生活に制限の無い期間・介護に依存せず自立した生活が出来る期間が健康寿命です。福島県の健康寿命は、男性が70・67歳の全国41位、女性は73・96歳の全国35位です。

【福島県の総人口】
福島県の総人口は、187万9,235人です。65歳以上の高齢者は、県人口の3割を超えて、3・3人に1人が高齢者となっております。福島県の平均寿命は、男性80・12歳・全国41位、女性86・4歳・全国43位と下位です。

厚生労働省及び福島県から発表された統計に基づいて、説明させていただきます。

【生活習慣や生活環境の変化】
背景には、東日本大震災及び原子力災害の影響等もあり「生活習慣や生活環境の変化」と考えられ、具体的には、運動や活動量の低下・野菜摂取量の低下・調理済み惣菜食品や嗜好品として菓子購入の増加・食塩摂取量が多い・間食回数の増加・喫煙率が高い等と挙げられております。

【メタボリックシンドロームとは】
腹囲が基準値として、男性85・0cm以上・女性90・0cm以上の内臓脂肪状態に、高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすくなる病態を言います。福島県の該当者及び予備軍者割合は、40歳以上の約3割となつております。平成26年から全国ワースト3位圏内にあります。今後、男女共、年齢上昇に伴い、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍者割合は高くなる傾向にあります。糖尿病も、男女共に全国の中で高い状況にあります。併せて、平均食塩摂取量は、全国平均9・9gに対し、福島県は10・8gと男女とも全国2位、喫煙率も全国3位です。

【社会参加】
●身体活動を増やしましょう
●毎日をアクティブに暮らしましょう
●健康などを積極的に受けましょう
●コミュニケーションを大切にしよう

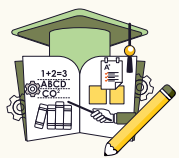
【結果】
①メタボ該当者や要介護高齢者の増加②健康寿命が短く、全国順位の低下③生活習慣病による死亡率の上昇④こどもにおいても肥満出現率及びむし歯有病率の増加という事です。

【健康長寿を目指すためには】
福島県は、健康長寿を目指すための三本柱は「食・栄養」「運動」「社会参加」と掲げています。皆様も、日頃の生活の中で、ご自身の健康及び生活習慣病について振り返ってみてください。

【健康的な生活習慣を身につけるためのポイント】
【食・栄養】
●1日3回、規則正しくバランスのとれた食事を取りましょう
●減塩を心がけましょう
●野菜を多くとりましょう
●ゆつくりとよく噛みましょう

【運動】
●運動習慣を持ちましょう
●30分以上の運動を週2回以上行いましょう
●有酸素性運動で内臓脂肪を解消しましょう

【おわりに】
いつまでも生き生きと元気で過ごすためには、一人一人の健康づくり、そして、健康寿命に対する意識を高めて頂くことが重要となります。病気の発症予防・治療及び重症化予防と共に、健康的な生活習慣を身につけるために、皆様自身で活動を始めましょう。

福島大学経済経営学類准教授
農学系教育研究組織設置準備室

林 薫平

高校生の皆さん、期待しててください

オープンキャンパスでの熱気あふれる学類説明会の模様。
右から、荒井聡副室長、生源寺眞一室長、林

本欄では、ほぼ1年間にわたり、平成31年4月に設置をめざしている本学の5番目の学類「食農学類」について様々な角度から取り上げてきました。一緒に設置の準備を進めているメンバーが、オムニバスの、新しい学類の基本的な考え方や取り組みでいきたいテーマなどを紹介しました。

大筋のところは、何となく伝わったでしょうか。

本誌をパラパラめくっていて、本欄に目に留め、印象に残してくださった組合員や一般読者の

方も多かったのではないかと思います。

また、お子さんや、お孫さんに、この連載記事を見せてくださった方もいらつしやうたかもしれません。

本欄の連載の中では、限られた範囲ではありましたが、

■福島県全域がキャンパスである教室や実験室でなく、地域の現場こそ、学生たちの最大の学びの場である

■食と農の専門知識を身につけ、地域の課題解決の実践につなげていきたい

■グローバルな大局の思考をもちながら、足元のローカルな課題に力一杯取り組みたい

というような、私たちのメッセージを発信したいと考えて、誌面を構成してきました。

そして、もちろん、私たちが、1年後に向けたこのような「食農学類」の設置計画を誰よりも先にお伝えしたいのは、進学を考えている高校生の皆さんです。具体的に、食農学類への進学を検討してみてもいいと思います。

少しでも私たちの思いが伝わっていれば、準備室一同、うれしく思います。

ところで、去年の12月に、本学で、「ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト」（福島県教育委員会・一般社団法人ふくしま学びのネットワーク主催、福島大学アドミッションセンター共催）の本選が実施されました。県内の高校生たち12チームの魅力的な発表とディスカッションがおこなわれましたが、その中でも、農学系の2つの活動が目を引きました。

●会津農林高校「人と種をつなぐ会津伝統野菜専攻班」

●相馬農業高校「相農（油菜ちゃん）6次化商品開発チーム」

会津農林高校には、最優秀賞、相馬農業高校には、本学のアドミッションセンター長賞が授与されました。

高校生たちが、このような地域密着の活動をしているのは素晴らしいことで、私たちも目が覚める思いで拝見していました。元気に勉学に励み、地域に飛

び出して活動している高校生たちに、私たちは大いに刺激され、また同時に、食農学類に進学してくれないかとの期待も高めたものでした。

昨年（平成29年）の8月上旬に開催した本学のオープンキャンパスでは、高校生の皆さんが、食農学類の学類説明会と模擬講義に大勢参加していただき、活発な質疑や発言をしていただきました。

高校での学びをより発展させて、食農学類で学び、地域社会での実践力を身につけたいという高校生たちを募りたいという話をさせていただきました。

平成30年度は、高校の新3年生たちに、より熱いメッセージを発していきたく、はりきつて、最終準備に入っていました。

期待して楽しみに見ていてください。

また、8月のオープンキャンパスにも、ぜひご来場ください。お会いできるのを楽しみにしています！

ましよう

「アルコール・喫煙」

●節度ある適度な飲酒の量を守りましょう

●週2日の休肝日を守りましょう

●禁煙をしましょう

●受動喫煙を避けましょう

【睡眠・ストレス】

●質の良い睡眠がとれるよう工夫しましょう

●ストレスを和らげるよう心がけましょう

【健康イベント開催・アプリ配信】

職場や学校・企業での健康づくりそして、地域力を活用した健康づくりも重要となります。地域・行政・職域団体や企業等で出前講座、健康相談、体力測定・学校での食育活動等数多くの健康イベントが開催されています。また、福島県からの発信で「ふくしま健民アプリ」も配信されています。日々の歩数計測や生活習慣をチェックする機能があつて、気軽に楽しく健康づくりができます。

【おわりに】

いつまでも生き生きと元気で過ごすためには、一人一人の健康づくり、そして、健康寿命に対する意識を高めて頂くことが重要となります。病気の発症予防・治療及び重症化予防と共に、健康的な生活習慣を身につけるために、皆様自身で活動を始めましょう。

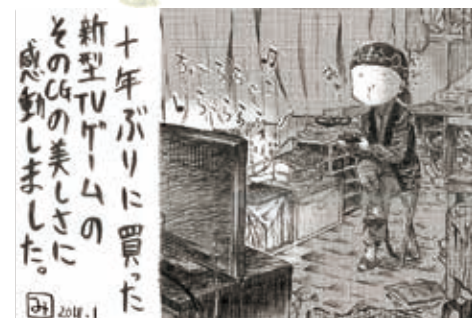
みらいろ 作品展



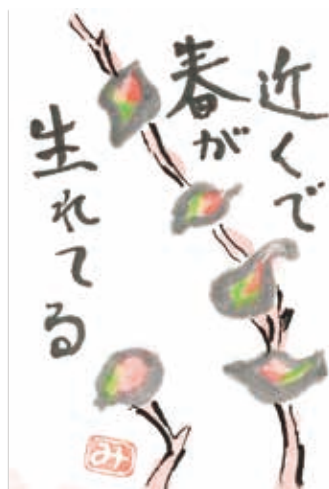
岡崎 イクさん(桑折町)



央戸 フミさん(桑折町)



曳地 美雪さん(伊達市梁川町)



志賀 美恵子さん(郡山市)



菅野 恵子さん(桑折町)



桑折 ツネ子さん(南相馬市原町区)



伊藤 恵子さん(福島市)



佐藤 ヨシさん(二本松市)



佐藤 ツネさん(福島市)

作品募集中!

絵手紙、川柳、俳句などの作品を募集いたします。
住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。
応募締切は2月19日(月)必着です。
〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係
※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます、あらかじめご了承ください。



八巻 美奈子さん(伊達市梁川町)

俳句・短歌・川柳

俳句

節分も過ぎて小春日春うらら

佐藤 弘美さん (福島市)

雪かきで筋トレ効果発揮する

菅井 昭子さん (国見町)

立春と農夫田畑見思案顔

志賀 隆雄さん (南相馬市原町区)

ラジオ体操新年早々さぼりおり

安藤 直子さん (南相馬市鹿島区)

白鳥や苗に染めて初日の出

石幡 洋一さん (桑折町)

北風に山いっばいの雪ぼうし

佐藤 文子さん (伊達市保原町)

成人の祝いの風にすそ乱れ

清水 義宏さん (相馬市)

如月に我が故郷を照らす月

松坂 義秀さん (南相馬市原町区)

短歌

白鳥は餅を求めに列の群れ

寒風の中声高らかに

渡辺 絹子さん (福島市)

老いの春お年玉手に涙する

孫よ未来へ夢多かれや

遠藤 文子さん (南相馬市鹿島区)

正月に春高バレー見ておりて

息子の(第十二回)姿想いなつかしむ

浜野 春江さん (新地町)

ワンダフル暦捲れば三十年度

時の気分は安泰となるや

吉田 英子さん (伊達市梁川町)

農初め田の水口に、拝み松

奉りて祈る秋の豊作

中村 英治さん (福島市)

初夢に想い巡らむ宵なれど

歌の枕に夢のまた夢

清水 義宏さん (相馬市)

成人式街行く娘等に春の風

揺れる振り袖蝶の如舞い

岡崎 英也さん (桑折町)

今日も又生きたあかしの日記書く

菊地 トシ子さん (国見町)

年明けて静かな朝が銀世界

吉田 昭雄さん (南相馬市原町区)

トンネルをぬけて山肌銀世界

富田 直子さん (水戸市)

サクサクと踏む足楽ししもばしら

今野 純子さん (新地町)

見上げればかけ声ひびくはしこ乗り

平間 勝成さん (南相馬市原町区)

相撲界国技にしては情けない

清水 初雄さん (南相馬市原町区)

初日の出この一年を健康で

佐藤 忠良さん (二本松市)

元気でな!! 黄泉国から深夜便

佐藤 福子さん (二本松市)

冬野菜寒さにたへて背伸する

梅村 チヨさん (南相馬市小高区)

北風をさけて陽射と散歩する

大畑 敦子さん (南相馬市原町区)

重い氷水に浮くのはなんなのさ

三浦 良一さん (南相馬市原町区)

雨は透明雪は白くどうゆうわけ

藤原 和子さん (南相馬市原町区)

亡き母に餅つき伝承感謝する

林 はつ子さん (南相馬市原町区)

栄華街さびれないのよ宗町

太田 幸子さん (南相馬市原町区)

大臣もやめてしまへば軽口多弁

武山 勇一さん (南相馬市原町区)

除夜の鐘うるさいと晝にせば拝者10倍

引地 茂さん (南相馬市原町区)

静かなる山に白雪荘厳に見ゆ

藤原 静子さん (南相馬市原町区)

仮設には全家族亡路頭人居り

太田 三秀さん (南相馬市原町区)

ヘリコプターガタガタするも飛び放題

藤原 馨さん (南相馬市原町区)

積雪地ニムうそかと思う浜の人

前川 充さん (南相馬市原町区)

被災地も七年たつとブタ草原

藤原 菊雄さん (南相馬市原町区)

政治家が男女関係No罰だよな

藤原 實さん (南相馬市原町区)

力士胸女性に似てる意識なし

藤原 元氣さん (南相馬市原町区)

JAご利用の皆様へ

日頃は、JA事業をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。皆様から、より一層のご信頼をいただけるよう下記の取り扱いをさせていただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。

集金業務受取書についてのお知らせ

必ず行います

- ▶当JA職員が、訪問先または店舗窓口において、お客様から現金、通帳・証書、払戻請求書等の重要物をお預かりする際は、**当JA所定の「受取書」または「定期積金掛込専用受取書」をお渡しします。**
- ▶定期積金の掛金をお預かりする際には、当JA所定の「定期積金掛込専用受取書」をお渡しし、定期積金証書の裏面の掛込領収欄に、お取引日の領収日・領収印を押印します。
- ▶**例外なく、定期的な担当者の変更を実施します。**

決して行いません

- ▶当JA職員が当JA所定の「受取書」または「定期積金掛込専用受取書」以外の**名刺やメモ等を受取書の代わりとして現金、通帳・証書、払戻請求書等の重要物をお預かりすることはありません。**

- ▶**お客様のご印鑑をお預かりすること、キャッシュカードの暗証番号をお聞きすることはありません。**
- ▶お借入れの担保品となる場合を除き、**通帳・証書等の重要物を長期に亘りお預かりすることはできません。**

お客様へのお願い

- ▶「受取書」「定期積金掛込専用受取書」の**記載内容・お取引日に誤りがないか十分ご確認ください。**
- ▶当JA所定の「受取書」は、**お客様へ現金お届けや重要書類等をお返す際、引き換えに回収しますので、それまで大切に保管してください。**
- ▶通帳・証書等をお受け取りの際は、内容に誤りがないかご確認ください。通帳は、少なくとも月に1回はご記帳いただくことをお勧めいたします。ご記帳は最寄りのJAのATM、窓口をご利用ください。
- ▶**当JA職員が、万一、受取書をお渡ししない等、お客様との対応について、ご不明・ご不審な点がございましたら、担当者にお問い合わせせず、直接当組合お問い合わせ・相談窓口までご連絡ください。**

お気づきの点がございましたら、下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

ふくしま未来農業協同組合コンプライアンス対策課 ☎024-529-7951

JAマイカーローン

現在JAとお取引のない方もご利用ができます

お気軽に
お問い合わせ
下さい

JAマイカーローン
ホームページ



変動金利 年1.25% 保証料別途 年0.65%

変動金利 年1.05% 保証料別途 年0.65%

JAカードご契約の方は 年0.1%軽減!
ファミたんカードまたはSDカード所有者 年0.1%軽減!
JA住宅ローンご利用の方は 年0.1%軽減!

左記1項目につき0.1%金利軽減し、最大2項目0.2%を金利軽減いたします。
上記1.05%の金利は、特別金利1.25%からJAカード契約者0.1%、ファミたんカードまたはSDカード所有者0.1%、JA住宅ローン利用者0.1%、最大0.2%を軽減した金利です。
(平成30年1月4日現在)

商品概要

お使いみち	自動車・バイク(新車・中古)の購入、購入に付帯する諸費用、車検・修理費用、運転免許の取得資金、車庫建設資金(建設金額が100万円以内のもの)、自動車共済掛金に必要な資金、他金融機関等から借入中の自動車資金の借換資金
ご利用いただける方	お借入時年齢が18歳以上で最終返済時の年齢が71歳未満の方 ※20歳未満の農業者以外の方については給与所得者に限ります。
お借入期間	6か月以上10年以内
お借入限度額	1,000万円以内
お借入利率	上記記載の金利は、お借入当初のみに適用されるものです。お借入後の利率は、基準日(4月1日、10月1日)の当JAの基準金利(短期プライムレート)により、年2回の見直しを行います。
担保	原則として不要です。

ご返済方法	元利均等返済(毎月返済とボーナス返済の併用可)
事務取扱手数料	最大1,000円(消費税別途)
保証	福島県農業信用基金協会の保証をご利用いただけます。原則として保証人は不要です。
保証料別途	年0.65%(一括前払い)
ご用意いただく書類	①資金使途に関する書類 お見積書(写)、契約書(写) ②所得に関する書類 お勤めの方・農業者の方/源泉徴収票、所得証明書または住民税決定通知書 自営業者の方/納税証明書および確定申告書(写) ③ご本人であることを確認する書類/ 運転免許証等、健康保険被保険者証、住民票(家族全員記載のもの)

※ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。
※店頭にてご返済額の試算を承っております。
※なお、審査の結果によっては、ご要望にそえない場合があります。

※ローンのご利用は、JA所定の資格・要件を満たす方に限らせていただきます。
※ローンの詳しい内容については、店頭に説明書を用意しております。

詳しくは、お近くのJA窓口へどうぞ。

お得なポイントサービス!

●3月の会員ランクについて

3月の会員ランクはみなさま全てレギュラー会員となります。

なお、**2月20日まで早期入会申込みをされた方に限り、4月1日より会員ランクが3月の取引内容に基づき更新されます。**(2月21日以降に入会申込頂いた方のランク更新は、最短で5月1日からとなります)

2月20日までの早期入会申込みがお得です!

●会員ランクの更新

JAとのお取引内容に応じて毎月会員ランクを見直し、翌月の1日から末日まで適用します。



レシートをチェック!

00400 ほうれんそう	¥158
00404 りんご 2P	¥540
00501 キウイフルーツ 4個入	
3コ×単188	¥564
合計	¥1,262
[内税計]	¥93
お預り	¥1,300
お釣り	¥38
お買上点数	5点
お買上ポイント	50点
獲得ポイント明細	
お買上ポイント	10点
合計獲得ポイント	10点
前月ポイント	188点
総ポイント	198点
会員番号 XXXX XXXX XXXX 2536	
会員ランク シルバー	
※※※※ポイント倍率印字終了※※※※	
レシートイメージにつき、実際とは異なる場合があります。	

JAふくしま未来の**各種事業※**を利用するほど、**ポイント獲得率がアップ**します!

ポイントはレギュラー会員の場合、直売所でのお買い物時に200円(税別)につき1ポイント貯まります。また、200ポイント貯まると200円分のお買い物券を発行します! JAふくしま未来の各種事業(右記参照)をご利用するほど、「レギュラー」⇒「シルバー」⇒「ゴールド」⇒「プラチナ」へとランクアップし、ポイント倍率があがります。

例えば…**出資金+貯金+共済+ローン+JAカードでプラチナ会員に!**

※直売所のみご利用の方はレギュラー会員になります。

★★…シルバー会員(★:2~3つ) ★★★★★…ゴールド会員(★:4つ) ★★★★★★…プラチナ会員(★:5つ以上)



※ランクアップできるJAふくしま未来の事業

- ★出資金 ★共済契約 ★給振もしくは年金
- ★定期貯金(50万円〜) ★JAカード決済
- ★ローン(カードローンを除く)

安達地区 白沢支店新築プレオープンのお知らせ

平成29年10月より新築工事をすすめてまいりました白沢支店を、

平成30年2月13日(火)プレオープンいたします。

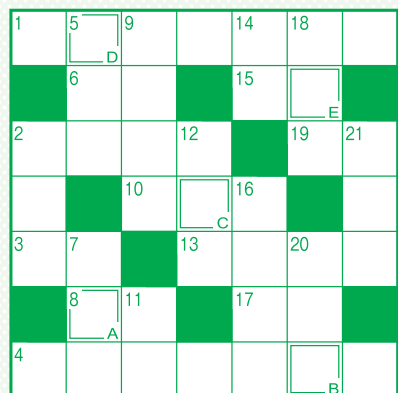
皆様のご来店、職員一同心よりお待ちしております。

◎所在地 本宮市糠沢字石神113-1

◎電話 0243-44-3111

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？



答え A B C D E

応募方法

官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所
④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧JAや広報誌
に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、
下記の宛て先までご応募ください。

宛て先

〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東 1-1
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

締め切り

平成 30 年 **2 月 19 日(月)必着**

※記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

タテのカギ

- ②在校生の送辞に対する卒業生の返事
- ⑤15日間ある大相撲なら8日目
- ⑦ケーキを焼く前にオープンを——した
- ⑨大学——に向けて受験勉強しています
- ⑪日によって値段が変わるメニューにはこう書かれます
- ⑫宇野重吉と寺尾聰、渡辺謙と杏
- ⑭国民の三大——は教育・勤労・納税です
- ⑯食材をいふして作ります
- ⑰石原裕次郎のヒット曲『——よ今夜も有難う』
- ⑳豚カツの衣の一番外側
- ㉑永世中立国として有名。首都はベルン

ヨコのカギ

- ①お内裏さま、五人ばやしといえば
- ②胸びれを広げて滑空します
- ③——学生、修道——
- ④ラディッシュとも呼ばれます
- ⑥水を多めに入れて炊いた米
- ⑧ドライバーで締め付けます
- ⑩とっくりを持ってお——した
- ⑬円を描くときに使う文房具
- ⑮大、小、裸から連想される穀物は
- ⑰定規を使うときれいに引けます
- ⑲グルミやドングリが似合う小動物

先月号の答え



フ キ ノ ト ウ

たくさんのご応募ありがとうございました。
**正解者の中から抽選で
「みらいオリジナルグッズ」
を10名様にお送りさせていただきます。**



JAふくしま未来の概要

平成29年12月末現在

組合員数(正)	46,582人
(准)	48,604人
役員数 理事	55人
監事	8人
職員数	1,410人
准職員数	356人
出資金	16,236百万円

事業実績

購買品供給高	14,039百万円
販売品販売高	24,832百万円
貯金高	719,649百万円
貸付金高	159,373百万円
長期共済保有高	2,694,155百万円

理事会報告

第11回理事会 日時▶平成29年12月26日(火)午後1時30分
場所▶JA福島ビル10階 1001会議室

協議事項

- 議案第1号 「つみたてNISA」取扱い開始にかかる規程等の変更について
- 議案第2号 平成29年度仮決算監事監査回答について…【回収資料】
- 議案第3号 不祥事件に対する告訴について
- 議案第4号 個人情報保護に関する規程等の一部改定について

編集後記

当JAは2月が年度末。来月からは新年度です!!今年度の広報紙はいかがでしたか?普段は辛口な物ばかり食べている私ですが、コメントは甘口も大好きです。広報担当にとって一番つらいのが「無反応」。お化けよりも怖いです。広報誌を手にする方が「あ!」「い〜」「うっ」「えー!」「おお」と反応するような誌面作りが出来ていたのか。是非、ジャッジをお願いします!!!そして、次年度の「みらい」もよろしくお願い致します。 優花

福島地区

花卉新規栽培者募集説明会

- 2月21日(水)** 午前10時～ 北信支店2階小会議室
午後 2時～ 吾妻営農センター2階会議室
- 2月22日(木)** 午前10時～ 福島南支店2階小会議室
午後 2時～ 松川営農センター2階会議室
- 2月23日(金)** 午前10時～ 川俣飯野営農センター資材店舗2階会議室
午後 2時～ 山木屋支店大会議室
- ※最寄りの会場へお越し下さい。【連絡先:福島地区指導販売課】TEL 024-554-5583

安達地区

直売所イベント●こらんしょ市 二本松店

- 2月15日(木)・16日(金)**「こらんしょ市の日」
あだたら宝味噌のあったか〜い味噌汁振る舞いサービス!
- 2月26日(月)～28日(水)**「月末の市」
お米10kgまでの購入で10%増量サービス!

福島地区

野菜栽培指導会のお知らせ

★今月の内容★



- ①春野菜（サヤ類・アスパラガス等）の栽培のポイント
- ②来年度の作付計画について

- 2月22日(木)** 午前10時30分～ 福島南支店会議室
午後 2時～ 庭塚地区活性化センター会議室
- 2月23日(金)** 午前10時30分～ 北信支店会議室
午後 2時～ 川俣飯野営農センター会議室
午後 2時～ 立子山地区活性化センター会議室

最寄りの会場へお越し下さい。【連絡先:直販課福島地区センター】TEL 024-553-3657

伊達地区

直売所イベント●みらい百彩館んめ〜へ

- 2月10日(土)・11日(日)**「JAありだ産かんきつ類詰め放題」開催!
- 2月17日(土)・18日(日)**「JA常陸産干し芋・焼き芋まつり」開催!
- 2月24日(土)・25日(日)**「決算セール」開催!
- ※2,000円以上お買い上げで、たまごつかみ取り!

そうま地区

組合員の皆様へ

JA ふくしま未来【そうま地区】

ファッションフェア 2018

日時 **2月17日(土)** 10:00～18:00
2月18日(日) 10:00～15:00

会場 **JA ふくしま未来**
相馬中村総合研修センター 特設会場

Jewelry Collection ジュエリーコレクション

『和のジュエリー』

雅

日本文化の伝承

日本の伝統工芸の代表技法として、
金沢の蒔絵を施したべつ甲、
琥珀ジュエリー。また、桜や
梅の花模様をアレンジした
ジュエリーも取り揃えており
ます。



118,800円(本体価格110,000円)〜

スペシャルプライスコナー

サンプル品、製造終了品等お求めやすい価格での品揃え。
メーカー通常小売価格より
40〜50%OFFにてご提供させていただきます。

スペシャル
プライス

お求めやすい価格で指輪・ネックレス等
取り揃えております。

税込 **32,400円**
(本体価格30,000円)〜

JA ふくしま未来 限定特別企画

SV 花珠パールネックレス
& K14WG パールイヤリングセット

ダイヤモンドペンダント
(1粒・鑑定書付)

特別価格で
ご用意!

◆その他、指輪・ネックレス・ピアス等豊富に取り揃えております。

Ladies' Collection レディースコレクション



Jewelry Clinic アフターサービスジュエリークリニック

お手持ちのジュエリーでお困りのものや
修理・クリーニングご希望のものをご持参ください。

会場内特典

- ご来場記念品 会場にてお渡しさせていただきます。
- ご購入記念品 ご購入の方にのみプレゼント。
- おくつろぎコーナー お茶とお菓子をご用意。
- ご購入の方にさらに、特別企画 お楽しみ抽選会

※本チラシに掲載の価格は、JA全農希望小売価格です。 ※写真はイメージです。



農

のある風景

～伊達郡桑折町～

イチゴ

伊達郡桑折町ではこれから迎えるイチゴの出荷最盛期に向けて、収穫と並行して管理が進められています。今年はイチゴに適した気候が続いているため、生育は順調。3月にはハウスいっぱいには赤い実がたわわに実る光景が見られそうです。

水分や空気をたくさん含むことができ、省力化や作業性の向上につながるとされるロックウールなどの培地を用いた高設栽培も行われています。通常の栽培では親株から次年度の苗（ランナー）を取る作業を収穫期後の6月から7月に行いますが、高設栽培では今の時期でも苗取りを行います。

収穫しながら、子苗も作る。高設栽培ならではの作業風景です。